

業務フロー・コスト分析等の結果に基づく業務改善事例

独立行政法人名	国立研究開発法人国立循環器病研究センター	部課室等名	看護部 調達企画室
対象事業名	看護師白衣中央管理	実施期間	平成26年4月～
分析対象とした事務区分	白衣のサイズ合わせ・配布・運搬・管理		
分析実施の背景 (問題意識等)	リース契約によって個人ごとに白衣を貸与しており、毎年多数の職員が採用されるため、年度末から年度初めにかけては白衣のサイズ合わせ・配布・管理等膨大な作業が発生している。また、洗濯後の白衣の運搬・管理を職員が実施している。		
分析により 明らかになった点	採用時のサイズ合わせ・配布・管理は看護職員が実施しており、多大な人員と時間を要していた。洗濯業務は委託となっているが、納品場所から各部署への運搬、各部署での管理は職員が実施しており、運搬や各部署での配布にも時間を要していた。病気休暇や長期研修の場合、復帰を前提としているため白衣の回収はしていないが、未着用でも月々のリース費用が発生している。		
分析結果に基づき 講じた改善措置	リース契約による白衣の個人ごとへの貸与を廃止し、購入白衣の共用により中央管理することとした。また、洗濯・運搬・管理業務を一括して業務委託することとした。		
その効果	白衣の共用によって、採用時のサイズ合わせ等が不要となり、業務量を大幅に削減することができた。また、未着用となる白衣もなくなり、すべて有効に活用されることとなった。洗濯から管理までを一括して業務委託することによって、運搬・管理等に要した時間が削減された。また、紛失等に対する問い合わせ窓口も受託業者に一本化され、管理業務の効率が向上した。		